

謹

賀



誇りの持てる
まちづくりを
市民とともに

須崎市議会議長
竹下 雅典

あけましておめでとうございます。皆さま輝かしい新年をお迎えることと思います。

須崎市議会も昨年11月に行われました選挙で新人3名とともに16名の議員で出発し、新しい組織改選でこのたび議長を拝命いたしました。身の引き締まる思いとともに市民の皆さまの附託に応えることのできる議会運営に務めていきたいと思っています。

昨年は、須崎市も市制施行60周年を迎え、記念式典では須崎市に貢献のあった団体・個人の表彰がありました。表彰されました皆さまには敬意とお慶びを申し上げます。

また、須崎市では初めてオープンウォータースイミングも開催され全国から競技者が参加して、男女共に3 km・1 kmのコースで年齢別に7つの区分で行われました。オリンピックでも正式種目として10 kmで行われており、今年も須崎市での引き続きの開催が期待されると思います。

一方、国政に目を向けますと昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。この法律は、まち（すさき）の一人ひとりが夢

や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会を形成し、その地域社会を担う個性豊かで多様な人材を確保して、地域における魅力ある多様な職業の創出を目的としています。昨年12月3日には小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げに成功しました。6年かけて小惑星1999 JU3と地球を往復する旅に出ました。はやぶさ2は有機物や水を含む可能性の高い小惑星の形状や成分を調査し、生命の起源となる物質が存在していると考えられる場所に着陸して岩石や砂を採取するそうです。本当に夢とロマンのある挑戦だと思っています。

私といえども、61周年を迎える須崎市が魅力のあるまちにするために「まち・ひと・しごと創生法」を活かして「須崎市に住んでよかった」と誇りの持てるまちづくりを市民の皆さまとともに行っていきたいと思っています。今年一年が、市民の皆さまにとりまして幸多き年となりますようにお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

平成27年1月